

## 平成29年度 湘南台高等学校 不祥事ゼロプログラム実施状況

## ○ 項目・目標別実施結果

| 項 目                         | 目 標                                    | 実 施 状 況  |
|-----------------------------|--|--|
| 法令遵守意識の向上                   | 教育公務員としての自覚を持ち、コンプライアンス（法令遵守）への認識を深める。 | ○朝の職員打合せや事故防止会議等を通じて、日常的に問題意識を喚起した結果、公務外非行を防ぐことができた。<br>○事故防止啓発資料等を配付し、信頼される学校づくりに取り組むよう注意喚起を行った。                            |
| わいせつ・セクハラ行為の防止              | 人権意識を向上させ、わいせつ・セクハラ行為の未然防止に努める。        | ○事故防止会議において、チェックシートを活用し、職員全員がセルフチェックを行うことでセクハラ等の未然防止について意識啓発を行った。  |
| 体罰・不適切な指導の防止                | 生徒の人権を保証し、生徒に対する体罰や不適切指導、不適切発言を防止する。   | ○事故防止会議において、チェックシートを活用し、職員全員がセルフチェックを行うことで体罰等の未然防止について意識啓発を行った。<br>○定期的な教育相談会議を実施し、幅広く情報を共有し、生徒が抱える課題の早期発見に努めた。              |
| 成績処理及び進路関係書類の作成・取扱いに係る事故防止  | 厳正かつ確実な成績処理を行うとともに、調査書・推薦書等の発行には万全を期す。 | ○朝の打合せにおいて、定期試験に係る不正行為の防止、答案の管理について注意喚起を行った。また、成績処理については、マニュアルに基づいた業務の遂行を徹底した。<br>○常に管理職より点検ルートについて声かけを行い、未然の事故防止に努めた。       |
| 個人情報管理、情報セキュリティ対策           | 個人情報の取扱いには最新の注意を払い、流出や紛失を防ぐ。           | ○個人情報の管理と適切な廃棄を行った。また、管理職から職員へ机上の整理について、声掛けを行った。<br>○携帯電話等への個人情報の登録については登録申請を行うよう徹底させ、個人情報の流出防止に努めた。                         |
| 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守 | 交通法規の遵守や交通マナーの向上を図り、無事故・無違反を目指す。       | ○職員の綱紀の保持に基づいた具体的な事例を提示し、全体で再確認することで、職員の交通事故・交通法規の遵守に対する自覚を喚起することができた。   |
| 会計事務等の適正執行                  | 公費及び私費の会計事務をマニュアルに沿って厳正に行う。            | ○私費会計マニュアルについてポイントを明確にしながら再確認を行い、職員全体に対して適正な執行の徹底を図った。<br>○担当グループより、定期的な執行状況を全体に情報発信することで、適正な執行を行なうよう周知徹底した。                 |
| 入学者選抜に係る事故防止                | 入学者選抜業務要項に基づいて、適正な業務を行う。               | ○あらゆる業務において常に点検ルートを職員全体で確認し、複数でのチェックを行った。<br>○入選マニュアルの管理について徹底を図るとともに、面接・採点に関する校内研修会において細部にわたる再確認を行い、職員全員に事故防止に対する注意喚起を徹底した。 |

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

(1) 平成29年度の達成状況について

ア ほぼ毎月事故・不祥事防止の研修会を実施し、学校全体で不祥事防止に取り組む体制ができた。また、毎回チェックシートを活用したことで、自己の振り返りを行うことができ、継続的な意識啓発の点において、大きな成果があった。

イ 事故・不祥事防止の取り組みにゴールはなく、今後も、様々な形態で効果的なプログラムを検討し、学校一丸となって事故・不祥事防止に努めていきたい。

(2) 平成30年度の課題について

ア 校内研修会をさらに充実させ、職員の事故防止意識やコンプライアンス体制強化をすすめる。

イ 学校評議員や保護者等の意見を、職員の不祥事防止に反映するための手段を検討する。